

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立坂下高等学校		
実 施 期 間	①平成25年10月19日(土) ②平成25年10月29日(火) ③平成25年10月31日(木)・11月12日(火) ④平成25年11月7日(木)		
実 施 概 要	①地域の方の講演を聞く会 ②未就園児親子との交流会 ③地元小学校児童との交流会 ④保護者・地域の方による授業参観		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	9 人	計 58 人
	地域関係者	49 人	
実 施 状 況	<p>①④「講演会」「岐阜県ふるさと教育週間」の案内を作成し保護者へ配布した。また、校下の総合事務所や坂下公民館等の地元施設に案内を掲示し、坂下地区内には地域の回覧板と行政無線放送を依頼し案内した。</p> <p>①第5、6限LHR：講演会 「車椅子から見える世界」 講師：北村祐二氏（下呂市在住、社会福祉士）</p> <p>・事故で頸椎損傷・四肢麻痺となり厳しいリハビリを経て、社会福祉士をはじめケアマネージャー、福祉レクワーカーなど介護福祉士以外の資格を取得され、現在主任生活相談員として働いておられる北村さんの話を聞くことで、障がいを理解すること、自分の生き方を考えることができる機会とした。</p> <p>②地域の公民館でポスター掲示とリーフレットの配布を依頼。坂下公民館幼児学級協賛のため、公民館で参加者を集約していただいた。</p> <p>・第3限～第6限 生活文化科(ア)保育(イ)フード(ウ)ファッションの各コースによる講習会・交流会を実施した。(42名)</p> <p>(ア)パネルシアター・手作りおもちゃによる保育 (イ)幼児食調理・呈茶 (ウ)防災ずきん作り講習会・プレゼント用布おもちゃ製作</p> <p>それぞれのコースの専門について、乳幼児と関わるのに留意する点を考え、食材選び、盛りつけから乳幼児の手作りおもちゃや接し方など、考慮した内容を反映する取り組みとした。</p> <p>・昼食時には参加者の方々と生徒たちとで交流し、子育ての実際の喜びや心がけていることなど、多くのことを教えていただいた。</p> <p>実際に、保育園児より低年齢の乳幼児と接することで保育に対する理解の幅が広がった。</p>		

③生活文化科 坂下小学校5年生44名との交流会：「エプロンを作ろう」  
ミシンの基礎を教え、練習後、実際にエプロン作成に挑戦。

ミシンを扱う際の注意点を教え、紙や布きれで練習を繰り返すことでミシンを実際に使えるように支援した。

福祉科 坂下小学校6年生34名との交流会  
：「福祉体験学習」

高齢者体験、障がい者体験、妊婦体験を実施し福祉を理解してもらう。



坂下小学校交流（生活）



坂下小学校交流（福祉）

普通科（12月に実施予定）：坂下小学校1、2年生との交流会  
絵本の読み聞かせを実施後ドッジボール等での交流を予定している。

④地区内の坂下小学校・坂下中学校にも案内を掲示した。終日公開授業として、保護者や地域の方に学校を開放した。

成果及び課題

- 地域の方々から率直な感想をいただくことができ、今後の教育活動の参考となった。
- 乳幼児、小学生、高齢者及び地域の方々と、様々な年齢の方々と接する機会を設定することで、場に応じたコミュニケーション力を身に付ける一助となった。
- 保護者への案内に加え、坂下地区には地域の回覧板、無線放送等による案内を実施したが、今年度は例年より参加者が減少した。来年度は同窓会にも講演会等への参加の声かけをお願いしたい。
- 今年度も、恒例の夏期休業中の小学生対象「ふれあい茶道教室」、全校での健康棒作りを継続実施した。加えて「ひびきあいの日」での福祉科「ふれあいサロン」（地域の高齢者の方との交流会）などの取組も年間数回行っている。地元坂下地区での活動に積極的に取り組み、「地域に貢献できる人材の育成」を目標に、地域に根ざした教育活動を実践した。また、坂下駅前公衆トイレ清掃（週1回）や通学路清掃（月2、3回）にも積極的に参加する生徒が多い。
- 今後も機会を捉えて保護者や地域の方々が参加できる行事、ボランティア活動を行い、積極的に地域の方との交流を図り、地域で生きる力を養成したい。

来校者の感想（抜粋）

- ②・簡単な防災頭巾は見えそうで早速、防災グッズに加えておこうと思いました。子どもが泣いたり、嫌がったりしても、担当の生徒や他の生徒達もいやな顔せずに面倒を見てくださり、後半はとても元気よく遊べていました。遊び方やおもちゃも本当に工夫されていて、魚釣りは家でまねしたいと思いました。
- ・普段の生活では、高校生とふれあう機会がないので、良い体験をさせていただきました。ありがとうございます。
- ④・調理の授業の参観でしたが、各自の手際の良さに感心しました。生徒が生き生きして楽しそうでした。